

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>「幸せになる」という目的に向かい、毎日、楽しく穏やかに暮していけるように、一人ひとりを尊重した介護に取り組んでいます。</p>	<p>日々のミーティングの中で理念を意識して、ご利用者様一人ひとりにとって、それは、具体的にどういう事なのか話し合いの場を設けていく。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>運営理念を述べる事が出来ない職員もいますが、日々笑顔を絶やす事が無いように努力している。</p>	<p>以前は、朝の申し送りで理念を暗唱していたので、再度、暗唱していきたい。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。</p>	<p>ご利用者の権利、義務を利用案内時の説明文書や契約書にわかりやすく表示し、運営理念を施設内の見やすい場所に明示しています。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>外出、散歩などでは、近所の方々と挨拶や会話を楽しんでいます。本年度は、新型インフルエンザの流行により、外出や散歩は、控えています。</p>	<p>以前は、頻りに散歩やレクリエーションの機会を設け、外出をしていたので、状況をみながら、再開していきたい。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>町内会行事のお祭りや盆踊りなどにも積極的に参加をして、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>町内会の会合に参加、運営推進会議の場で地域に理解して頂けるよう取り組んでいる。</p>
6	<p>事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>ボランティアの受け入れなど行い、見学者の訪問にも快く答えている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>		<p>評価の結果を踏まえて、改善できる点を考え計画し、会社、職員が一丸となり、より良いサービスを提供していきたい。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>		<p>必要なご利用者様には、支援しているが、他の職員も理解できるよう、成年後見制度についての研修会に参加していきたい。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。</p>		<p>今後も、虐待が見過ごされる事のないように、話し合いの場をもち、防止に努めたい。</p>
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>		<p>契約時や解約時には、十分に時間をかけ、ご説明し、納得して頂き、同意を得るようにしています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご利用者様の意見、不満、苦情を記入できる意見ポストを設置している。ご利用者様の意見を反映できるよう職員間及び管理者と話し合いの場を持っている。		より良いサービスに繋がるように、話し合いの場を多く持ち、取り組んでいきたい。
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	毎月、ご家族様へお便りを出し、ご利用者様の暮らしぶりを報告しています。ご家族様、来訪時には、健康状態、金銭管理などを報告しています。		
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会を、1年に1度設けたり、ご意見箱を設置しています。又、ご家族様のご意見やご不満、苦情などを聞ける時間を設け、運営に反映させています。		家族会を、1年に1度開催してきたが、新型インフルエンザの流行により、本年度は、まだ、開催できていません。状況を見ながら早急に開催したいと思います。
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ユニット会議や連絡ノートを活用しております。個々の意見に耳を傾け、問いかけたり、聞き出せるよう努めています。必要に応じて全体会議を開催し、意見交換をしています。		
17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	行事、レクリエーション、病院受診などの状況の変化に応じ、管理者と職員との話し合いの上、人員の調整に努めている。		
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	人員が変わる場合は、スタッフ全員の声かけや気配りで、ご利用者様へのダメージが、和らぐよう配慮している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>会社内、外での研修を受ける機会を作っており、全員が順番に参加できるようにしています。</p>	<p>札幌市中央区グループホーム・スタッフ研修会にスタッフ全員が順番に参加できるよう取り組んでいきたい。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>札幌市グループホーム管理者連絡会議や中央区グループホーム管理者会議に出席し、ネットワーク作りや勉強会を通じてのサービスの向上に取り組んでいる。</p>	<p>札幌市中央区の連絡会、他グループホームの事例検討会に参加し、他事業所との経験交流を図り、ケアの向上に活かしていきたい。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>運営者は、日常や面談で、職員のストレスや悩みを把握するよう努めている。又、親睦会を開き、職員同士でストレス解消になるようにしています。</p>	
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>運営者は、現場に毎日来ており、職員の個々の業務や悩みを把握するよう努めています。</p>	
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>入居に至るまでは、ご本人様に、実際に施設を見学して頂き、不安な事に対しては、その都度、ご説明し、納得されるまで対応しています。</p>	<p>言葉の少ないご利用者様の訴えを、どのように受け止めるか、気付きや観察の能力を高め、信頼関係を作っていきたい。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>ご家族様来訪時には、どんなに些細な事でも、相談していただけるように、配慮してお話を伺うよう、努力をしています。</p>	<p>ご利用者様ご家族様にも安心して頂けるよう、これからもお話を伺う機会を設けていきます。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>どんな事でも、何回でも、ご相談に応じて、他のサービス利用も含めた対応に努めています。</p>		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>	<p>ご利用者様の不安感を受け止め、徐々に、その場に馴染んで頂けるよう、さりげないサポートをしています。</p>		<p>入居後、間もない頃のご利用者様の不安を理解して徐々にその場に馴染んで頂けるよう、さりげないサポートをして、他ご利用者様とも交流ができるようとりくんでいきたい。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>	<p>自分本位の考えを持つ事なく、常に、相手の気持ちになって介護にあたるようにしています。</p>		
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>より良い支援ができるよう話し合いに時間をかけ、介護計画を作成しています。</p>		
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるよう支援している。</p>	<p>アセスメントシートを基に、ご家族様、ご本人様からお話を伺い、より良い関係を築いていけるよう支援しています。</p>		<p>ご家族様に相談しながら、より良い関係が築いて行けるよう支援していきたい。</p>
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ご利用者様が安心して生活ができるよう、ご家族様と、よく話し合って希望を取り入れ工夫している。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	ご利用者様が孤立しないように、午前、午後にお茶の時間を設け、必ず、声かけし、食堂に集まって頂き、お茶を飲みながら、レクリエーションを行っています。		ご利用者様が集まる機会を増やしていきたい。
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退去後も必要に応じて情報提供しています。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者様の表情や行動から、その時々を意思をくみ取り、意思の疎通に努めています。		意思の表現が困難な方の希望や意向を、しっかりと受け止められるよう、観察力などの能力を高めていきたい。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご利用者様やご家族様から、これまでの生活歴を伺う他に、これまでに利用していた居宅介護支援事業所の介護支援専門員や病院の医療連携室、相談員と連携を図り、これまでのサービス利用の経過などの把握に努めている。		これまでの暮しや身体状況、病気など情報収集し、入居後の支援に役立てていきたい。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	一人ひとりの一日の過ごし方や心身の状態の変化を記録し、総合的に把握するように努めています。		心身の状態の変化を、早期に発見し、対応していきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ご利用者様、ご家族様の要望を聞き、職員、全員で話し合い、介護計画を作成している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	3ヶ月毎に介護計画を見直し、評価後、介護計画を作成しています。見直し以前に、対応しきれない変化が生じた場合には、介護支援専門員の適切な管理のもと、現状に即した新たな介護計画を作成している。		現状を把握し、常にご利用者様一人ひとりに即した介護計画を作成していきたい。
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに生かしている。	ご利用者様一人ひとりの日々の様子、身体や精神の変化を、介護日誌や個人日誌に記録して、介護計画に活かしています。		職員全員が情報を共有し、実践できるよう取り組んでいきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	ご利用者様、ご家族様の状況に応じて、通院、買い物、送迎などの必要な支援は、可能な限り、柔軟に対応し、支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	行事、外出などには、ボランティアの皆様の協力を得ています。消防署の協力も得て、年2回の消防避難訓練を行っています。		
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	ご利用者様の希望に応じて、訪問理容、美容のサービスを支援しています。		
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議に地域包括支援センターの職員が参加するようになり、情報交換し、協力関係を築いている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	週に2回、施設看護師が健康管理をしています。他に、週に1度、かかりつけ医が往診に来ます。又、ご家族様が希望する医療機関での受診もあり、ご家族様が付き添えない場合は、職員が支援しています。		地域にある病院との連携を強め、ご利用者様の急な変化にも、迅速に対応できるよう取り組んでいきたい。
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	往診医は、認知症専門ではないが、医療に熱心でご利用者様やご家族様、職員の話をよく聞いてくれ、指示や助言を頂いている。		往診医より指示や助言は、受けているが、それでも困難な事例は、精神科受診の支援を行っています。
45 看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	事業所として看護職員を確保しており、日常の健康管理や体調変化時の相談をしている。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	介護添書を活用し、情報交換に努めています。病院、医療連携室の相談員とも連携を図り、カンファレンスに参加し、早期に退院できるよう支援しています。		入院時には、頻繁に見舞いに行くようにし、ご家族様とも情報交換しながら、回復状況を把握し、速やかに退院できるよう取り組んでいきたい。
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	ご利用者様、ご家族様の意向と医師の診断を元に話し合い、全員で方針を共有するよう努めています。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	事業所で、出来る範囲内のケアを、医師、看護師と連携をとりながら、支援しているよう取り組んでいる。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49	住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	施設内での生活情報を詳細に伝え、住み替えによるダメージを防ぐように努めている。		事情により、移り住む際は、ご利用者様に関わるすべての関係者と話し合い、情報交換し、支援していきたい。
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	常に一人ひとりの人格を尊重した、やさしい言葉かけや笑顔の対応を心掛けています。又、記録などの個人情報にも配慮しています。		意思表示が困難な方でも、出来る限りの方法を検討し、支援していきたい。
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	常にわかりやすい言葉で一人ひとりに説明し、納得していただくよう努めている。		
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりのペースに合わせ、出来る限り、希望に沿った支援をしています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、利用・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	ご利用者様の服装や整髪など、身だしなみに留意したケアを行っています。月に1度、訪問理・美容のサービスの支援をしています。		
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しいものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしているか。	ご利用者様に合わせたメニューで提供し、準備や後片付けも、ご利用者様に合わせたペースで行っています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	好みのものを、ご利用者様一人ひとりの状況に合わせて、日常的に楽しめるようにしています。		
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	ご利用者様、一人ひとりの力や排泄パターンを職員は、把握しており、気持ちよく排泄できるように支援しています。		排泄の支援の時には、言葉や環境など一人ひとりの人格を尊重した対応をしていきたい。
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	入浴は、職員の介助が必要な為、週に2回、入浴が出来るよう予定を組んで行っています。体調や要望を良く聞き、入浴を楽しんでいただくよう支援しています。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	気持ちよく休息したり、夜、ぐっすり眠れるように、日中は、散歩や体操で身体を動かし、生活のリズムを作り、規則正しい生活が送れるよう支援しています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	午前と午後に趣味や生活歴を活かしたレクリエーションの時間を設け、楽しみごとや気晴らしになるよう支援しています。		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金の管理が出来るご利用者様がいない為、ご家族様が管理、対応しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	本年度は、新型インフルエンザの流行により、外出は、控えていますが、以前は、天気の良い日は、毎日のように、散歩に行くように努めていました。外出レクリエーションでは、お花見、デパート巡り、レストランでのお食事会などを充実させ、戸外に出掛けられるよう支援していたので、状況を見ながら、再開していきます。		状況をみながら、冬期間でも外出が出来るよう支援していきたい。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが言ってみたく普段はいけないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	ご家族様と相談しながら、出来る限りの支援をしています。		
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	電話は、居室に設置されているご利用者様もいますが、希望時には、いつでも利用して頂けるように支援をしています。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	ご家族様や馴染みの方々が、いつでも気軽に訪問でき、ゆっくり過ごして頂けるように心がけています。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を2ヶ月に1度開催し、事故の起きない環境に整備しています。全職員は、身体拘束を、正しく理解しており、身体拘束のないケアに取り組んでいます。		人間としての尊厳を常に考え、身体機能の低下につながる身体拘束をゼロにするように、その原因をとり除くケアに取り組んでいきたい。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	玄関の鍵は、かけていません。エレベーターや階段の扉は、開けるとチャイムが鳴るようになっており、鍵をかけないケアに取り組んでいます。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>昼夜通して、ご利用者様の所在や様子を把握し、夜間のトイレ時には、歩行の見守りや誘導などで、安全に配慮しています。</p>		<p>各居室、トイレなどにナースコールを設置し、使用できるご利用者様には、使用して頂いています。</p>
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>ご利用者様、一人ひとりの状況に応じて、管理が過剰にならない程度に管理方法を決め、危険を防ぐ取り組みをしています。</p>		
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>ヒヤリハットや事故報告書は、各階に配布し、職員の共有認識を図っています。事故対策委員会を開き、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいます。</p>		
70	<p>急変や自己発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p>	<p>ケガ、骨折など応急手当の指導は、施設内研修を開き、看護師より指導を受けています。急変や事故発生時には、管理者、医師の指示の元、対応しています。日常的に想定できる急変や事故発生時の対応は、職員間で話し合っている。</p>		
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。</p>	<p>消防署の協力を得て、避難経路の確認や消火器の使い方、避難訓練を行っています。</p>		
72	<p>リスク対応に関する家族との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。</p>	<p>ご利用者様本位の暮らしを大切にする事を事業所として取り組んでいるので、よくご説明して理解を得られるように努めています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p>	<p>表情、食事量、排泄状況などの一般状態やバイタルチェックなどで把握し、問題があると思われる時には、細心の注意を払い、早期受診するなど、速やかに対応しています。</p>	
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>職員は、ご利用者様一人ひとり、それぞれの薬の目的、用法、用量を把握し、正しく服用できるように取り組んでいます。薬の処方や用量が変更された時には、記録に残し、職員がわかりやすいようにしている。服薬時には、飲み込みまで支援しています。</p>	
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p>	<p>便秘の原因や身体に及ぼす影響を理解し、牛乳やヨーグルトの提供、水分補給や体操などで便秘の予防に取り組んでいます。</p>	<p>自然排便につながるよう、排便状況を確認しながら、医師と相談し、取り組んでいきたい。</p>
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p>	<p>毎食後、うがいや義歯の手入れの声かけや介助の支援をしています。</p>	
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事量は、全員チェックし、水分量は、ご利用者様の状態に応じてチェックし、記録しています。</p>	
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症についてのマニュアルがあり、いつでも職員が手に取り読む事ができます。インフルエンザ予防接種は、ご利用者様、職員全員が受けています。</p>	<p>感染症の発生を防ぐ為に、原因となりうる事柄を考え、予防に努めていきたい。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>食材の衛生管理はもとより、台所、調理器具などは、毎日、消毒し、衛生管理に努めています。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>玄関の横に看板を設置し、グループホームとしてわかりやすくなっています。玄関を入ると、フローアがあり、ソファ、テーブルなど用意しており、気軽に入って頂けるようになっている。</p>		<p>玄関周りを工夫していきたい。</p>
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活観や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節ごとに、壁に飾りつけをし、思い出の写真を飾ったり、不快な臭いや光がないように配慮して、居心地よく過ごせるように工夫をしています。</p>		
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>食堂で談笑したり、音楽を聴いたり、新聞、テレビを見たり、自由に居場所を選び、過ごされています。</p>		
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>カレンダーや写真などを飾ったり、使い慣れた家具を自由に配置して、安心して居心地よく過ごして頂いています。</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>窓の開閉や空気清浄機、加湿器、扇風機、換気扇などを使用して適切に調整をします。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>廊下、浴室、トイレ全てに手すりが設置されており、広い廊下もあり、ご利用者様一人ひとりに合わせて、歩行器、車椅子、杖の使用も出来るようになっています。</p>	
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>居室の入り口には、一人ひとり、表札や暖簾をかけたたり、トイレや浴室の場所も、わかりやすく表示して、混乱を防ぐよう工夫をしています。</p>	
87	<p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>活用できていません。</p>	<p>建物の外周りを活用して、ご利用者様に楽しんで頂けるよう取組んでいきたい。</p>

. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています ほぼ全ての家族 家族の2 / 3くらい 家族の1 / 3くらい ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

サービスの成果に関する項目		
	項目	取り組みの成果
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き生きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

ご利用者様とのコミュニケーション、ご家族様とのコミュニケーション、職員同士のコミュニケーション、情報の共有化が出来て、信頼関係が築けると考えております。これからも、出来る事を積み重ね、ご利用者様が安心して快適に生活できるよう支援していきたい。